

修了評価の方法

評価基準作成者：平野 亨子

評価方法及び合格基準	<p>1 出題範囲</p> <ul style="list-style-type: none">「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」から「(9) ところとからだのしくみと生活支援技術」までとする。 <p>2 出題形式</p> <p>四～五肢択一形式及び記入式・記述形式とする。</p> <p>3 出題数</p> <p>試験① 択一問題 26 問 (配点各 2 点 合計 52 点)、 記入式問題 1 問 (記入箇所 10 か所) (配点各 3 点、合計 30 点) 記述式問題 1 問 (配点 18 点) 全問正解：100 点満点</p> <p>試験② 択一問題 30 問 (配点各 2 点 合計 60 点)、 記入式問題 3 問 (記入箇所 20 か所) (配点各 1 点、合計 20 点) 記述式問題 1 問 (配点 20 点) 全問正解：100 点満点</p> <p>4 合否判定基準</p> <p>60 点以上</p> <p>5 不合格になったときの取扱い</p> <ul style="list-style-type: none">結果発表後、1 時間の補習のうえ再評価を行う。 なお、再評価に係る合格基準は 60 点以上とする。 補習料：徴収しない再試験を最大 3 回まで実施する。 なお、再試験の結果、不合格であった者には、もう一度、補習を行う。 再試験料：徴収しない不合格者には、修了評価者が直ちに個別指導を行い、今後、もう一度研修を受講するか、他の仕事を選択するか、相談に乗り、受講生の意見を尊重し、一緒に決めていく。
------------	--